

2025年度

二チイキッズ横浜西口保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

| 評価方法 | | |
|----------------|------|--|
| 保育士等（全職員）の自己評価 | 評価期間 | 2026年 1月6日（水）～ 3月13日（金） |
| | 実施方法 | 全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。 |
| 保育施設の評価 | 評価日 | 2026年3月13日（木） |
| | 実施方法 | 話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。 |

| 項目ごとの評価 | |
|-------------|--|
| 保育理念 | 「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」という保育理念に則り、子どもの最善とは何か、子ども主体の保育とは何かを職員間で話し合い、自己研鑽に努めました。また生活や遊びの中から学ぶ事の大切さを念頭に保育を行いました |
| 子どもの発達援助 | 子ども達のありのままの姿を受け入れ、それぞれの発達を考慮した保育計画を立て、心身ともに健やかに成長するように努めました。 |
| 保護者に対する支援 | 送迎時に子どもの様子を伝え合い、対話を大切にしたり、連絡帳のやり取りで園での様子を伝えることで、保護者と園との関係性がより良好になり、子育て支援に繋がりました。 |
| 保育を支える組織的基盤 | 日々話し合いの積み重ねや、社内、社外の研修に参加して学んだ知識を職員間で共有し、園全体で保育の質の向上に努めました。 引き続き子どもの主体性を育む保育を目指していきます。 |

| 総評 |
|---|
| 保育理念、保育方針に基づき、常に子どもの最善の利益を守る事を念頭に日々の保育を心がけました。職員全員が同じ認識、対応が出来るように保育所保育指針学習や不適切保育撲滅の研修に参加して自己研鑽を行い、子どもの人権を尊重し、園全体の保育の質の向上に努めました。 今後も職員一人一人が自発的に学び、0,1,2歳児の大切な成長の時期の子どもに関わっているという責任を再確認しながら、子どもの主体性を育む保育を行い、子どもにも保護者にとっても安心して通える保育園づくりをしていく所存です。 |